

企画 PR 部会 報告

【出席者】One Book One OSAKA 事業運営委員他 22 名

【日時】平成 22 年 4 月 23 日(金) 午後 1 時～ 1 時 45 分

【場所】大阪市立中央図書館 5 階 中会議室

・配付資料：開票結果資料・「これまでの運営委員会等での企画・PR に関わる意見」

1. 経過について

平成 22 年 3 月 25 日 子ども運営委員会開催

平成 22 年 3 月 30 日 第 2 回運営委員会開催

(以上、図書館ホームページに議事録公開予定)

- ・シリーズでまとめると「ぐりとぐら」シリーズが 1 位。しかし、子ども運営委員会の意見を踏まえ、単独絵本としては投票数トップの「はらぺこあおむし」を「One Book」に決定。

平成 22 年 4 月 23 日 One Book One OSAKA 2010 発表会

2. 開票結果について

- ・投票総数は 8466 票。内 8 割弱が絵本。それ以外では、ものがたりや図鑑などが多かった。
- ・小学校の回収状況は 1/3 弱。学校ごとにばらつきがある。

3. 新年度の One Book One OSAKA 事業の取り組みについて

(以下の発言者は、...事務局、...委員)

【投票用紙について】

年令・男女別の記入欄は設けたい。しかし、あまり項目が多くなると開票作業が煩瑣になる。

集計作業はどのようにしていたのか？

中間発表時は、2 票以上あるものを抽出して、その中で得票数の多いものを順位づけし発表した。最終集計時は、タイトル別に五十音順に並べてエクセルに入力した。

シリーズはまとめてカウントし、上位の投票数を獲得したシリーズのみ、タイトルごとにカウントした。シリーズまとめての集計のほうが作業ははるかに効率的。年齢・男女等項目が増えると作業量が増大するが、年齢別投票数は見てみたいと思う。細かい年齢別ではなく、グループ化した年齢別の項目を設けたい。

あまり作業が大変になるのは避けた方がよいと思う。

名前の記入は不要。年齢も、「10代・20代…… 小学生低学年・高学年」など選択項目を予め設け、選択できるようにすればよい。

大きさはA4でよい。完全に空白だと書きにくいので、上部に数行罫線を（薄くてよいので）入れてもらえると大人は書きやすい。

絵本の絵を描いた人の欄も必要なのでは？

来年度も同じランキングとなった場合はどうするのか？

「One Book」は、投票結果をもとにして運営委員会で決めることになっているので、必ずしも投票数1位にこだわる必要はなく、いろいろ切り口を変えて発表できると思う。

大人も投票できるよう、投票用紙の配布を職場や家庭にも広げてみてはどうか。

投票用紙を2種類程度に分けるほうが投票して頂きやすいかも。図書館に来られる大人の利用者にも貸出カウンターで投票用紙を手渡すなど、今後は声をかけていきたい。図書館に設置している投票箱への投票数は少なかった。

「はらぺこあおむし」の出版社が、大阪市内や府域の書店にOne Book決定等をお知らせするポスターやポップを配布してくれると聞いている。大阪市内の大型書店の中には、トップ以外のランキングに入った絵本もそのランキング情報とともに展示することを検討されているところもある。今年度の「One Book」の投票に関わって、書店等にも投票箱設置を依頼してみることを検討中。

今回の「One Book」決定のポスターやチラシを子育て支援施設に持って行って報告したいが・・・。

地域館に20部ずつ配付するので、地域館経由で適宜受け取っていただきたい。

【 投票用紙配布期間・方法について 】

今年度は配布を6・7月から始めて、12月末頃に締め切りたいと考えている。締め切りと言っても、それ以降、各施設から投票箱が届く場合も多く、開票作業が遅れがちになるためである。12月締め切りで、1月中に投票箱を回収するというスケジュールで良いだろうか？

開票作業に時間がかかりそうなので、それでよい。

小学校等投票箱設置施設に対し、締め切り間際になったらその旨お知らせするか、表示をすとか、工夫がいるのでは？

【 広報について 】

子ども運営委員からも本事業に関わる広報が不足している、新聞等に広告を出すべき等の意見も頂いたが、広報に関わる予算は投票用紙兼チラシの印刷費しか無いので困難。「One Book」発表会時に各新聞社の記者に取材に来てもらえるよう努力した。多方面に声をかけ、協力依頼をしていくことで本事業のPR 広報に努めていきたい。以前、東淀川図書館では子どもたちとポンポンで「あおむし」を作り、一緒に絵本の読み聞かせをして楽しんだことがある。「はらぺこあおむし」なら、色んな遊びが考えられる。各館でも同様のさまざまな催しをやっていただけたらと思う。

One Book にちなんだ催しとして、今後は出版社に許諾をとって、大型紙芝居や人形劇なども作ることが出来たらと考えている。